

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	上村150号線整備事業	会計	一般会計	事業No.	599	施策順No.	72-011	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-11-7			
政策	7 自立・連携した地域づくり			課等名	土木課			
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上			事業期間	開始	22	終了	26

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	通過車両						A十分達成した Bどちらかといえれば達成した Cどちらかといえればできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		自動車交通量:台/日				100	100	
		歩行者:人/日				10	10	
意図	便利で安全に移動ができる。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)				20	20	40	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	計画的に事業を進め、おおむね目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	市道上村150号線は、観光・生活道路であり下栗地区の基幹道路である。本路線は、市道南信濃30号線を通し、市道上村3号線に接続しているが、道路幅員が狭く(2~3m)通行に支障をきたしているため、円滑な通行確保を図る。 道路延長L=900m 道路幅員W=4.0m		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 道路改良工事 2 詳細設計	1 施行延長 2 詳細設計	1 L=93m 2 1式
23年度実施計画	1 道路改良工事 2 詳細設計	1 施行延長 2 詳細設計	1 L=200m 2 1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)道整備交付金(1/2) (地)過疎対策(充当率100%) 22→23繰越明許費28,660千円
	国庫支出金		24,250	9,970	10,000	
	県支出金					
	起債		25,916	11,696	10,300	
	その他					
一般財源			160			
計(A)		50,326	21,666	20,300		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			21,666			

4 事業に対する市民や議会の意見

合併時の確認事項であるとともに、市民や議会からも改良に対する要望が強く早期完成を願っている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	本路線は、市道南信濃30号線を経過し、市道上村3号線に接続しているが道路幅員が狭く(2~3m)通行にきたしていたが、改良工事により円滑な通行確保が図られた。		
	後期に向けた課題	先練も道路幅員が狭く通行に支障をきたしているため、早期の改良が必要。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討を行い、同等の性能で安価な工法を選択した。		
	後期に向けた課題	引き続き工法検討を行い、同等の性能で安価な工法を選択する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	経費の縮減と再生材の使用。		
	後期に向けた課題	より一層の経費の縮減と再生材の使用及び職員の意識向上。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	予定箇所の改良工事により、円滑な通行確保が図られた。		
	後期に向けた課題	急峻な地形なので、十分な調査を行い計画をする。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------